

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070800327		
法人名	医療法人柳泉会		
事業所名	グループホーム柳橋		
所在地	長野県小諸市大字諸407		
自己評価作成日	令和 5年 9月 1日	評価結果市町村受理日	令和 5年 11月 8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2070800327-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 5年 9月 28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人並びにグループホームの理念を基に令和3年度以降は特にコロナウイルスの感染防止を重点とした運営を行っています。地域の皆さんとの交流はグループホームを理解してもらうための貴重な機会と位置付けていますが地域での行事や催し自体が中止となるなど直接の交流が出来ない状況が続いてきました。グループホームではコロナ終息後を見据えて、水明小学校3年生とビデオレターでの交流を続けてきました。また目標達成計画にある年4回以上の入所者の外出では近隣公園等での花見やバラ園見学など年2回の外出を実施しました。令和5年5月、新型コロナウイルス感染症が5類となったことから当施設でも規制緩和を進めご家族様との面会についてはマスクの着用などの基本的感染防止を行う中で屋外での直接面会を開始しました。さらに令和5年7月には地元区のお神輿が4年ぶりに開催され、当グループホームには地元の子ども神輿が敷地内まで入って練り歩いていただき利用者の皆さんに大変喜んでいただきました。今後もコロナ禍以前のように多くの方との交流を進めていきます。

浅間山の南山麓のなだらかな丘陵のドウ畑や田畑に囲まれた中に開設から22年目を迎えている当ホームがある。法人の理念6項目を基にホームの理念5項目が立てられ、それらを柱として職員は利用者の生活を支援している。毎月、接遇委員会でも目標を立てて周知したり、接遇研修や身体拘束・虐待に関する研修を受講することにより、職員の人権意識の向上が図られている。新型コロナ前は、毎年、地区の会食会や文化祭に利用者と共に参加したり、ボランティアの来訪や小・中学校生との交流を行うなど地域との関わりがあったが、この数年はコロナ禍でほとんどの活動が休止となっている。そのような中、小学生とは年に3〜4回ほどお互いの作品や手紙を送りあったり、小学生から利用者宛のビデオレターのDVDを送っていただき、鑑賞し、関係を絶やさないよう努めている。更に、地元の区長とは運営推進会議などで連絡を取り合い関わりが途切れないようにしている。新型コロナが5類に移行した5月中旬以降、家族との面会については予約を頂き、ホーム南側の庭にテーブルとイスを置き、マスク着用で3〜4人に限り、10分以内で実施している。そのため、来訪する家族が増え、毎週訪れる家族もいるという。新型コロナ以前から、写真入りの新聞や利用者一人ひとりの健康状態や生活状況を記載した手紙を家族の元へ送付したり、電話で近況を伝えるなどして良好な関係づくりに努めている。コロナ禍で外出の頻度が減っているが、日常的にはホーム周りや庭の散歩、草取り、リビングでラジオ体操をするなど、できる限り体を動かす機会を設け、運動不足にならないようにしている。現在、要介護1の方が3分の2を占め、全職員が利用者の力量に沿いながらホームの理念の「自立を支援する」「家庭的な楽しい雰囲気の中で役割を持つ」に向かって真摯に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1〜55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		